

- 農作物の葉を挟むことで省力的に硝酸態窒素量を把握する測定器について、適正施肥による化学肥料の使用低減効果を実証し、品目ごとに施肥を改善できる技術の確立に取り組む。

【主な事業内容】

葉を挟むことで、搾汁液を利用する手法と比較して省力的に硝酸態窒素量を把握する測定器「Folina」について、

- ・窒素施用量を低減させる効果を実証するとともに、
- ・品目ごとに施肥を改善できる技術を確立し、利用者向けの運用手順書を作成する。



測定器で葉を挟んで
約7秒で硝酸態窒素量を測定・表示

【主たる事業所の所在地】

大阪府大阪市

【計画の実施期間】

令和8年6月 ~ 令和13年5月



センサー

表示画面